

# 記念演奏会に寄せて

札幌稻北高等学校 橋 場 富 蔵

私が西高にいた頃「今年の定演は“ファースト”がたりないな」とか“ヴィオラ”が足りないと心配していると、いつの間にか先輩が駆けつけてくれて、曲りなりにも定期演奏会を成功へ導いてくれたものである。また楽器購入するとなれば「〇〇国の〇〇メーカーのものが良い」とわざわざ学校へ来て情報を提供してくれた。そのほか数えたらきりがないが、生徒も私もどれほど助けられたかわからない。

このように陰に陽に支援してくれた先輩諸氏が、OB会を結成することになったという。その心あるところは言うまでもなく、高校でオーケストラをやる難かしさを、自ら体験した諸氏の親心にはかならない。部員も今まで以上に強力なバックアップが得られるだろう。新設校に勤務する私にとって、伝統というものの大きさや素晴らしさを、今更のように痛感せざるにはいられない。

さて、高校における難かしいオーケストラ活動を、西高があえて可能にしている背景として、芸術を育む校風や伝統が深く根付いていることがあげられる。また同窓の方々の惜みない援助に加えて札幌という地域環境に恵まれていることもある。しかし、やはり生徒の資質が大きいと思う。高等学校で勉強と楽器を両立させるということは考えるほど簡単ではない。部員のパワーとバイタリティを日のあたりにして、教師の私がよく舌を巻いたものである。

本日演奏する人達はそれを成し得た人達であり、そういう人達はまたあらゆる場所、あらゆる場面でそれなりの活躍をしている人達もある。そういう重鎮が一堂に会するを易しとする情勢ではないが、この記念演奏会を機にこれからも回を重ねて、高校時代とはひと味違った“エグモンド”や“フィンランディア”を聴かせていただきたいと思うのは私だけであろうか。先輩諸氏のこれまでのご支援に心から感謝の意を表すと共に、OB会の限りない発展をお祈りする次第である。

## 甦る知性と情熱

北海道白樺高等養護学校 今 野 鉄 雄

西高OBオーケストラの第一回演奏会が本日多数の聴衆のおい出をいただいて行われます。ことに、加藤†三先生（北海道女子短大教授）、橋場富蔵先生（稻北高校）、高橋研一さん（OB会長、西高12期）、五十川隆幸さん（OB会事務局、西高17期）を始め中田昌樹先生、そして楽員の皆さんに心からおよろこびの言葉を申し上げます。このOBオーケストラが加藤先生の音楽への知性と情熱を高校3年間感得され、その後もそれぞれの立場で日頃から研鑽されておられる皆さんです。そして現役のご指導をいただきながら大へんな御努力をされつつ昭和59年始めて始まった西高オーケストラのOBの名簿作成、又昭和60年1月、雪の日西高の記念館で現役の部員が驚嘆の眼差しで聴かせていただいたOBオーケストラの初練習。長くはぐくまれて来た知性と情熱が本日の演奏会と信じます。此の演奏会が今後益々盛会にそして点した美燈を永遠に続けられることを祈念しつつ、聴衆の皆さんと共に、万雷の拍手を送りたく思います。

### 記念コンサート実行委員

OB会々長	高橋 研一 12期	事務局	五十川 隆幸 17期
平岡	啓史 17期	田中	恵 17期
横田	寛 19期	北守	一雄 20期
中田	昌樹 20期	大石	和彦 24期
小林	亘 26期	岩佐	宏 26期
山口	尚子 27期	岩崎	恵子 28期